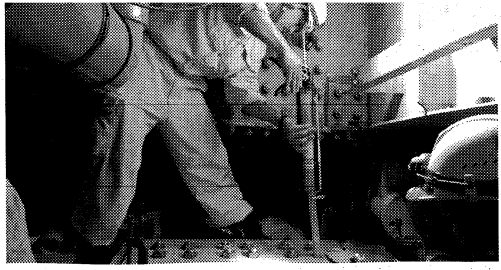


PR

技術も

心が可能な汚染との不溶化処理層工法に使用さる。また、重金を物理的、化学的に最適であり、補修厚さが30mmを超える場合は10mm以下の豆砂利を添加しコンクリートタイルとして使用することも可能である。また、リフレモルセットSFの低い弾性係数と高耐久型エポキシ系接着剤との併用により既設床版と強固に一体化し、



状況 補修後の床版は非常に高い疲労耐久性を發揮する。コンクリートモーターによる連続施工も可能で、好評を得ている。

◆リフレモルセット

ど、重金属汚染対策材には新たな用途拡大も見込まれている。

◆リフレモルセット

「リフレドライシヨット工法」は、コンクリートの断面修復用乾式吹付工法である。乾式専用配合設計された粉体とポリマーエマルジョンを専用特殊ノズルにより、瞬時に均一な材料を練上げ、品質のバラつきがない乾式吹付けを可能とした。従来の乾式工法の課題であった施工時の粉塵、リバウンド発生を大幅に改善し、湿式では到底実現できない長距離圧送性(最大300m、厚付け性能(最大200mm)を可能とした。

セメフォースアンカーは業界初の無機系注入式あと施工アンカーとして開発された。有機系アンカーに比べ、無機系の特徴である耐水性、耐熱性や施工環境などに優れた性能を有している。筐子トンネル事故以降、建設分野ではあと施工アンカーの長期耐久性

◆セメフォースアンカー

に関して注目が集まっている。セメフォースアンカーについては、早くから長期耐久性を長期クリープ試験や耐アルカリ試験で実証した十分なデータを有している。また、日本建築あと施工アンカー協会(JCAA)の工法製品認証を注入式あと施工アンカーでは唯一取得している。

水中不分離型グラウト材「LU-10T」を展示し、宇部・三菱の総合力をPRする。

このほか、土壌や地下水などに含まれる硫酸塩の劣化作用を受けにくく、硫酸塩環境下の長期耐久性の保持を目的に使用される「耐硫酸塩ポルトランドセメント」、現場を問わず施工性・強度・耐久性に優れた吹付けコンクリートを容易かつ経済的に製造することができ、「ナイスシヨットセメント」など様々なセメントもPRする。

気泡解析能力が向上

耐久性測定が高精度

八洋コンサルタント・フアースト

八洋コンサルタントとフアーストは2004年に両社の共同開発で、画像処理による硬化コンクリートの気泡測定装置「HF-MAC C01」を製品化した。

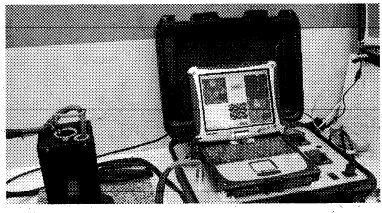
「HF-MAC C01」による測定では、テストピースが必要であったが、実構造物の気泡測定のためにコア採取を伴う必要があり、コ

ンクリート構造物に与える損傷やコア採取位置や数量が限定されるという問題があった。これらの問題を解決するために両社は15年にコア採取を必要としない現場型気泡測定装置「HF-MAC C02」を発表した。

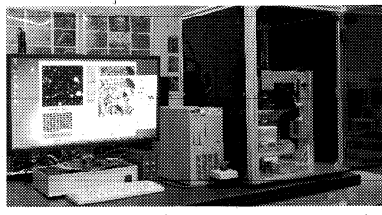
現在、東北地方を初めとする寒冷地では耐久性の向上が求められて

コンクリートの空気量6%が推奨されている。さらに近年では、気泡組織の品質が耐凍害性に与える影響について研究が進められており、このことから気泡測定装置には微細気泡の判別に伴う処理技術の高精度化が必要条件であり、品質評価性

「HF-MAC C01」を大幅に向上させた



HF-MAC 02



HF-MAC 011

を保存することにより、気泡径に応じた気泡間隔係数を算出し、試験機器間による分解能に合わせて新旧の評価を可能にした。

「HF-MAC C01」は現在高い評価を受けている現場型気泡装置「HF-MAC C02」と組み合わせることで、施工性などの均質性を現場からラベリングまで評価することができ、これらを構造物の重要度によって使い分けることで、構造体コンクリートの耐久性に関する品質性能評価が、より迅速かつ高い精度で可能となる。

「HF-MAC C01」を大幅に向上させた

「HF-MAC C01」を大幅に向上させた

「HF-MAC C01」を大幅に向上させた